

会 議 録

会議の名称	平成 26 年度第 1 回茨木市環境審議会
開催日時	平成 26 年 6 月 24 日 (火) (午前・午後) 10 時 00 分 開会 (午前・午後) 11 時 40 分 閉会
開催場所	市役所南館 3 階 防災会議室
議 長	圓入 克介
出席者	石山 郁慧、圓入 克介、久米 辰雄、玉井 昌宏、天保 好博 箱田 正輝、藤田 紫、武蔵野 實、村瀬 径介、山田 俊一 【10人】
欠席者	今堀 洋子、三輪 信哉 【2人】
事務局職員	木本市長、西林産業環境部長、大神産業環境部次長兼農林課長 松本環境政策課長、中村環境事業課長、神谷環境保全課長 松山環境政策課課長代理、井澤環境政策課政策係長 谷口環境政策課新エネルギー係長、江濱職員 森野客員研究員、大友研究員 (㈱地域計画建築研究所 大阪事務所) 【12人】
開催形態	公開
議題 (案件)	(1) 茨木市環境基本計画 (案) について (2) スケジュールについて
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 茨木市環境基本計画 (案) ・ 資料 1 茨木市環境基本計画 (平成 16 年 3 月策定) 取組状況まとめ ・ 資料 2 茨木市環境基本計画 (案) 施策体系 ・ 資料 3 環境審議会の開催予定

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>【開 会】</p> <p>(市長あいさつ)</p>
事務局	茨木市環境審議会規則第3条第1項の規定により、圓入会長に議長をお願いしたい。
会 長	平成26年度第1回茨木市環境審議会を始める。本日の委員の出席状況について、事務局から報告をお願いします。
事務局	委員12人のうち、10人に出席いただいている。
会 長	過半数の委員の出席をいただいております、会議は成立しています。
	<p>【議 題】</p>
会 長	議題に入る。まず、茨木市環境基本計画案について、市長から審議会へ諮問を受けることとする。
	(市長より審議会会長へ諮問文を手交)
	(公務のため、市長退席)
	(審議会委員および傍聴者へ茨木市環境基本計画案を配布)
会 長	諮問を受けた、茨木市環境基本計画案について事務局より説明をお願いしたい。
事務局	(茨木市環境基本計画案の策定経過の説明)
事務局	(茨木環境基本計画案の説明)
会 長	茨木市環境基本計画案の内容について、事務局から説明があったが、内容が多いため、3回程度審議会を開催し、内容を確認していきたい。本日は計画案の第1章を中心に環境基本計画の考え方、そして全体的なご意見を頂戴したい。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
会 長	<p>審議会の役割は、計画案を決定することではないため、計画案に対してそれぞれの専門の立場から意見を出していただきたい。本日は初日のため、第1章を中心に、意見等をいただきたい。</p> <p>【質疑応答】</p>
D委員	<p>計画の対象とする環境の範囲が広いため、取り組み項目も非常に多いように思うが、4つの基本施策をバランスよく推進していくのか。それとも、重点的に取り組む重点施策のようなものがあるのか。</p> <p>また、記載内容について、施策の順序やスケジュール等を記載したロードマップのようなものがあると、市民からは計画内容が分かりやすく、結果として環境に興味を持ってもらえるのではないかと考えている。</p>
事務局	<p>本市としては、4つの基本施策をバランスよく推進していきたいと考えている。</p> <p>また、基本施策の推進には、人づくりや仕組みづくりが重要であるため、「環境意識、環境行動、環境教育」を個別施策ではなく、各施策に関する横断的な取り組みとしており、これが重点的な取り組みに該当するかと考えている。</p> <p>ロードマップについては、個別施策ごとに、今後5年間に必要な具体的な取り組み等をまとめた「実施計画」を定め、評価検証していく。</p>
D委員	<p>市民としては、環境に役立っているという実感が得られることが非常に大事である。ごみの分別にしても、分別をすることが、なぜ環境に良いか分からないと、結果として分別が進んでいかないのではないかと。例えば、名古屋市のようにごみ袋を有料化すれば、市民は節約のため、どうすればごみの減量になるか考える。このような市民に対し、ごみの減量と環境との関係について啓発を行うことで、効果的な環境意識の向上が図れるのではないかと。ごみ袋の有料化はあくまで例えだが、市民が環境に役立っていると実感が得られる施策を検討してほしい。</p>
事務局	<p>効果的に市民等の環境意識の向上が図れる方法について、今後の取り組みの中で検討する。</p>
E委員	<p>私は枚方市に住んでおり、茨木市を訪れると非常に良い都市に見える。北部に豊かな自然環境があり、野鳥の種類も非常に多く、市街地にも若園バラ園や耳原公園など、すばらしいところが数多くある。こういったこと</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
E 委員	<p>を知らない市民も多いと思うので、第1章に茨木市の自然環境の豊かさ等をPRするため、これらについての紹介文等を記載してはどうか。同じく、東芝のスマートコミュニティについても、最先端のものを茨木市でやろうとしていることから、PRのため、本文に記載した方が良いのではないか。</p> <p>また、小・中学校の環境学習に、自然の中をハイキングし、自然マップづくりをするなど、自然と触れ合う機会を取り入れることで、環境意識が高まるのではないか。</p>
事務局	<p>市には豊かな自然があり、多くの野鳥やホタルの観賞もできるため、これらをPRできるよう記載内容を検討する。</p>
C 委員	<p>茨木市の自然の魅力は、森林にあると思うが、森林を対象とする施策がない。もっと、森林についても検討してはどうか。</p>
事務局	<p>現状、豊かな自然ではあるが、林業の担い手不足で森林の手入れが行き届いていないなどの課題もある。こういった課題を踏まえ、どのような指標や取り組みを設定できるか検討する。</p>
C 委員	<p>森林は、生物多様性やCO2削減など、様々な施策に関連する。そういった説明文の記載も無いので、記載を検討してほしい。</p>
J 委員	<p>環境を知ることで防ぐことができる災害もあるため、環境施策を推進することは、安心・安全な生活環境をつくることにつながるといった内容を記載してほしい。例えば、先ほどから意見のあった豊かな自然がある北部地域とそこを流れる安威川等の自然環境を学ぶことは、洪水等の災害のリスクについても理解することにつながり、結果として、安全・安心な生活につながる。国もそのような視点で環境基本計画を策定しているため、ぜひ記載してほしい。</p>
H 委員	<p>今の意見と同じような意見になるが、地球温暖化によるゲリラ豪雨や船舶からの外来物の侵入等、環境の良い面だけでなくリスク面も教育してほしい。また、防災については、大阪市や摂津市ではマイ防災ブックという冊子を発行しているので、ぜひ参考にしてほしい。</p>
J 委員	<p>前回の審議会において、環境教育を実施しても参加者が少ないという意見があったが、教育委員会と連携はしているのか。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>環境教育については、教育委員会と連携し実施している。今年度は環境教育ボランティアによる環境学習プログラムを紹介するパンフレットを作成し、小学校等に配布しており、既に小学校からの申込みもある。</p> <p>また、先ほど防災という意見があったが、自分の身を守るということについては、他の行政計画である地域防災計画で記載している。環境の面から考えると、地球温暖化によるゲリラ豪雨などは地球規模の問題であり、市レベルで解決することは難しい。</p>
B委員	<p>課題として生物多様性を担当する部署がないということが記述されている。一方、新名神や安威川ダムなどの大規模工事での緑化は非常に大事で、生物多様性を確認する体制が必要ではないか。</p>
事務局	<p>部署の新設については、課題として認識している。</p>
G委員	<p>立命館大学の大阪いばらきキャンパスの開設や新名神高速道路のインターチェンジの設置などにより、これまでよりも多くの方が茨木市を訪れることが考えられるため、このような方にも、環境意識を向上するような施策等について、記載してほしい。</p>
事務局	<p>ご指摘の意見を参考に、今後記載内容を検討する。</p>
C委員	<p>安威川ダムは治水目的のダムとのことだが、治水目的のダムは、下流側の環境が大きく変わってしまう可能性があるため、事業者との情報交換を積極的に実施してほしい。</p>
事務局	<p>安威川ダム事務所からは、現状の生物多様性の状況など環境情報とダム完成後の影響予測をしていると聞いている。今後とも情報を収集していきたい。</p>
会 長	<p>今までの委員の意見をまとめると、安威川ダム、新名神については、これまでに無いような環境への影響も想定されるため、これらを考慮した計画としてほしい。</p>
事務局	<p>ご指摘の意見を参考に、今後記載内容を検討する。</p>
A委員	<p>14ページから、現行計画の現状と課題をまとめているが、課題に対応する取り組みの記載がない。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
A委員	<p>また、20ページの求められる視点について、内容が漠然としており分かりづらい。このため、例えば、“「環境」をキーワードとして、～事業活動に浸透していく必要があります。”とあるが、これに対する取り組みを記載するなど、記載内容とそれに対応する取り組みとのチェックリストといったものを追加してはどうか。</p>
事務局	<p>具体的な取り組みについては、5年間の「実施計画」の中で定めていくので、環境基本計画については施策の方向性と主な取り組みについてのみ記載している。</p>
H委員	<p>今までの10年間でどう環境が変わったのか、それが分かるグラフ等があれば、環境の現状と今後の方向性が分かるのではないか。</p>
事務局	<p>環境基本計画案では第1章の14ページ以降に現行計画の現状と課題を、第2章に現行計画の課題等を踏まえ、新計画の取り組み等を記載している。今後の方向性がわかるよう、記載内容を検討する。</p>
会 長	<p>他に何か意見、質問はないか。</p> <p>(委員からの発言なし。)</p>
会 長	<p>最後に事務局から、今後のスケジュールについて報告をお願いしたい。</p>
事務局	<p>「資料3」に基づき、今後のスケジュールについて説明。</p>
会 長	<p>これで審議会は閉会とさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">【閉 会】</p> <p style="text-align: right;">以上</p>